

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第2回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和4年11月2日（水） 午前10時00分から 午前11時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所203会議室
出席委員（者）氏名	（市議会）小野潔委員 （使用者）飯塚貴利会長、阿部照義委員、中島眞由美委員、 番場勇貴委員、平塚史子委員、 （有識者）宇野二郎副会長、木暮昭彦委員
欠席委員（者）氏名	中島のり子委員、邨田 茂委員
（事務局） 担当課職員職氏名	吉川市長 中原恵人 水道課長兼技術管理者 秋谷裕司 庶務係長 大滝利和、施設係長 村上飛鳥 庶務係 鈴木麻紀子、石井史織、専門調整幹 岡田和也
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	【次第】 1 開 会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議 事 （1）令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）（案）に ついて （2）その他 5 閉 会 副会長あいさつ 【公開・非公開】 公開
非公開の理由 （会議を非公開に した場合）	
傍 聴 者 の 数	1名

<p>会議資料の名称</p>	<p>令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）（案）</p> <p>資料1 令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）概要</p> <p>資料2 吉川市水道事業に係る水源井戸関連施設の廃止等について</p> <p>資料3 水道ビジョン（経営戦略）の進捗状況</p> <p>令和4年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表</p>
<p>会議録の作成方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録</p> <p><input type="checkbox"/> 要点記録</p>
<p>会議録確認指定者</p>	<p>中島眞由美委員、番場勇貴委員</p>
<p>その他の必要事項</p>	
<p>審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等）</p>	
<p>事務局</p>	<p>1 開会 会議は公開となることを報告する。</p>
<p>会長</p>	<p>2 会長あいさつ</p>
<p>市長</p>	<p>3 市長あいさつ</p>
<p>事務局</p>	<p>運営委員会定員10名のうち8名が出席し会議は成立、傍聴者が1名いることを報告。 会議資料1～3、次第、資料一覧、令和4年度会議予定表、委員名簿を確認。 吉川市水道事業の配水管末端水質監視をお願いしている横峯氏を紹介。 議事進行を飯塚会長に依頼。</p>
<p>会長</p>	<p>4 議事 会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、中島委員と番場委員を署名委員に指名する。</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) 令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）（案）について 資料1 「令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）概要」に基づき、1の「収益的収支予算」までを説明。</p>
<p>木暮委員</p>	<p>【意見・質疑等】 会野谷浄水場電話システム更新の減額補正は、システムを管理するための予算を延期するということか。</p>

事務局	<p>料金収入が落ちていることから、なるべく延命させるということで電話システム更新のための委託料を延期するものである。</p>
事務局	<p>資料1 「令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）概要」に基づき、2の「資本的収支予算」を説明。</p>
木暮委員	<p>【意見・質疑等】 昨日の新聞に越谷市で水道メーターの盗難が発生した記事があった。金属類は売れるので、注意した方が良い。</p>
事務局	<p>吉川市では交換したメーターは、まとめて売却している。 今回の盗難事件について、検針を委託している請負者とも情報を共有し、注意喚起を行っている。</p>
事務局	<p>資料1 「令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）概要」に基づき、3の「債務負担行為」を説明。</p>
事務局	<p>【意見・質疑等】 質疑なし</p> <p>(補足説明)</p>
事務局	<p>12月議会に提出する「令和4年度吉川市水道事業会計補正予算（第2号）に関する説明書及び参考資料」のP8、当年度の純利益が194千円と厳しい経営状況になっている。</p>
会長	<p>(2) その他</p>
事務局	<p>資料2 「吉川市水道事業に係る水源井戸関連施設の廃止等について」に基づき、説明。</p>
事務局	<p>(補足説明) 有収率とは何か、井戸4本はどこにあるのか等を補足。</p>
宇野委員	<p>【意見・質疑等】 経済的な事を考えると井戸を廃止し、県水に切り替える方向だと思う。 一方、災害時等のことも考慮する必要があり、飲料不可の災害用井戸1本を残すということで良いのか、災害時の応急給水をどのようにやっていくのか、市民の意見を聞き幅広く勉強する機会を設けた方が良い。</p>

木暮委員	<p>災害時の飲料水については、ペットボトル等で確保されるが、災害が長期化した場合は、トイレ等の生活用水をどのように確保するかが問題となる。</p> <p>また、避難所等にどのように生活用水を配るのか、市民も心配な点だと思うので、これらの対応の説明を考えた方が良い。</p>
事務局	<p>大規模災害の際は吉川市だけでなく、近隣も被害を受けている状況となり、市だけの対応や近隣の支援も難しい状況であるので、国等の支援が必要になってくる。吉川市では自衛隊と緊急時の連携を深めている。</p> <p>災害時には生活用水だけでなく、飲料水の確保も併せて国等の支援が必要になる状況であり、井戸を残して住民の役に立つか疑問もある。</p> <p>今回の案では、第7水源を生活用水として残していく方向であるが、本当に必要なものか、住民への周知や議会の意見を伺いながら、井戸廃止等を決めていきたいと考えている。</p> <p>災害時の応急給水は別立てで対策を計画する必要があると考えている。</p>
小野委員	<p>井戸は4本あるが、それぞれの揚水能力はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>7号井が時間128 m³、5号と6号が時間70 m³、3号は元々予備水源で時間30から40 m³くらいの使用である。</p>
事務局	<p>(補足説明)</p> <p>災害時の応急給水として、耐震性貯水槽が7か所(消防本部・中曽根小・吉川小・なまずの里公園・吉川中が100 m³、旭小・三輪野江小が40 m³)ある。</p> <p>また、県水の空気弁から給水できる拠点(揚水機)が11か所あり、吉川美南ではこの空気弁からの応急給水訓練を県企業局・管工事組合・市民と実施した。</p> <p>コロナの状況を勘案しながら、また市民の皆様と一緒に行っていきたいと考えている。</p>
木暮委員	<p>県水の直送給水整備とは、具体的にはどのようなものか。</p>
事務局	<p>会野谷浄水場には県水のバイパス管である直送施設がなく、南配水場には直送施設はあるが、運用の際の排泥施設がない状況なので、これらの整備を計画している。</p>
事務局	<p>資料3 「水道ビジョン(経営戦略)の進捗状況」について説明。</p>
木暮委員	<p>【意見・質疑等】</p> <p>資料P3に給水原価の内訳が示してあるが、県水100%にした場合どうなるか、今後、市民の方へ説明していった方が良い。</p>

また、資金残高に関しては、給水規模というより施設規模に起因してくるものなので、減価償却累計額の割合で管理する方法もある。電気とかは減価償却累計額の半分程度とか、水道では10%程度とかという人もいる。但し、減価償却費は適切な施設更新を行わないと少なくなるので、一概には言えないが、一つの方法でもある。

危機管理のことも考え、適切な資金残高を確保していく必要がある。

事務局

資金残高に関して、直近で料金改定を行ったA市の例では、今後10年間の更新費用二百数十億円に対し、年間の給水収益20~30億円と同程度の資金を確保できるよう料金改定を実施している事業者もある。

会長

その他、議題はあるか。

事務局

日頃、配水管網の末端で水質監視している横峯様からお話を伺いたい。

横峯氏

- ・南側の末端の中曽根で水質監視している。
- ・朝起きて、臭い・濁り・味を確認し、ある程度水を使用した8時30分頃、塩素濃度を測っている。
- ・塩素濃度は大体0.4から0.5で、0.3以下になって報告したことは7年間水質監視しているけど一度もない。
- ・30年間吉川に住んでいるが、水が濁ったことはほとんどなく、震災の時だけ濁りがあった。安全な水だと感じている。

中島委員

試験をするビーカーとかはどうしているのか。

横峯氏

試験管は支給されており、その中に薬を入れて測定している。

中島委員

リトマス紙みたいなものを入れるのか。

事務局

粉の試薬を入れ、見本の色と比べて濃度を測る。
塩素濃度が0.3以下になった場合は連絡を下さいとお願いしており、そのときは職員が配水管を確認し、浄水場から送る水の塩素濃度を高めたり、末端で排水したりして対応する。排水を行うと有収率も低下することになる。特に、三輪野江や上内川地区は利用者が少ないので対応することがある。

平塚委員

栄町に住んでいますが、監視する人は別ですか。

事務局

市街地は浄水場で測っており、末端の上内川・中曽根・須賀・三輪野江の4か所は市民に水質監視をお願いしている。

木暮委員	<p>全国的には末端の水質検査は市の職員が行ったり、民間業者に委託したりと色々だが、水道利用者が検査している吉川市の取組は素晴らしいので、是非継続していただきたい。</p>
中島委員	<p>水道の色々なお話を聞いて良かった。何よりも水道利用者も一緒に水道の安全に取り組んでいることが素晴らしい。</p>
横 峯 氏	<p>周りの人と話をしてみても、吉川市の水に不満はなく、断水もないし、むしろ美味しい水と感じている。</p>
小野委員	<p>水質を監視している人の名称はあるのか。</p>
事 務 局	<p>「末端水質監視業務委託」でお願いしている市民の方。</p>
横 峯 氏	<p>水道料金は人口が多いところは安いと聞いているが、吉川市の水道料金はどうなのか。</p>
事 務 局	<p>全国平均が1か月当たり20 m³使用時で約3,300円、吉川市が約2,400円である。</p> <p>施設更新等を積極的に行っているところや町などの人口の少ないところは水道料金が高くなる傾向にある。</p>
宇野委員	<p>本日の議題を総括すると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供給単価が下がる傾向にあるということは、単価の高い大口利用者の使用量が減っている状況にあり、料金体系についても検討する必要がある。 ・資金に関しては、借金が減っており、かなり健全だといえる。今後の施設更新は、適切な借金で補っていくことを考える。 ・特に気にすべき点は、収支で若干の黒字は確保できているが、減価償却費も含めた収支が世代間の公平性を示すものなので、赤字になれば現役世代の負担が低いということになる。 ・会計制度について、収支には補助金等による長期前受金という現金収入を伴わない収入が含まれており、以前の会計制度では現在の状況はすでに赤字となっている状況にある。今後の料金改定においては、この長期前受金を考慮するかどうかで大きく変わってくるので、議論が必要である。 <p>設備投資は、経営戦略よりも抑えているとのことだが、管路の耐震化等は計画的に進んでおり、何を抑えたのか。</p>

事務局	<p>石綿管の更新が喫緊の課題であり、積極的に取り組んでいることから管路の耐震化は計画以上に進んでいる、また、更新に当たっては全体の管路でダウンサイジング（縮径）を考え費用を削減している。</p>
宇野委員	<p>建設投資を抑えながら進めることは、減価償却費の削減にも繋がることなので良い取組である。</p> <p>経営戦略の新たな視点として、ゼロカーボンに取り組んでいくことも必要である。</p>
事務局	<p>ポンプや盤の更新の際は、省エネ機器の採用を考えていく。また、照明のLED化や管理棟に設置してある太陽光発電の適切な運用も考慮していく。</p> <p>(議事を終了し、会長が議長の任を解かれる。)</p>
事務局	<p>令和4年度の第3回運営委員会を2月3日に開催する旨、説明。</p>
宇野委員	<p>5 閉会 閉会のことば 水道の事を多くの人に知ってもらおうということが大切である。 市民や学校等に広めていく機会を設けたら良いと思う。</p> <p>以上で終了。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和4年11月11日</p> <p>署名委員 中島 眞由美（自署） 署名委員 番場 勇貴（自署）</p>	